災害レジリエンスNo.1の実現！

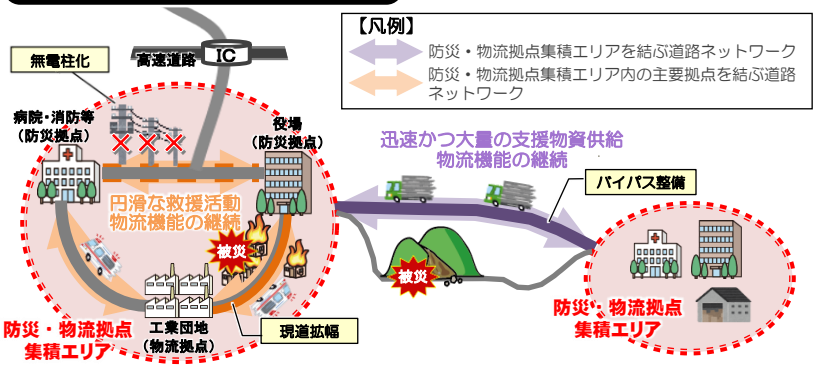
～災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築～

災害時の交通寸断を防ぐ

本県を襲った令和元年東日本台風をはじめ、近年、気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、災害時にも機能する強靱な道路ネットワーク（レジリエンスネットワーク）を構築します。

令和元年東日本台風による被害状況（道路寸断）

レジリエンスネットワークのイメージ



【効果1】広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送が確保されます！

上信自動車道や西毛広域幹線道路の整備により防災拠点や物流拠点が集積する防災・物流拠点集積エリア間を連携する強靱な道路ネットワークが構築され、広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送、経済活動の継続性が確保されます。

主な対象事業：上信自動車道（北群馬渋川エリア～吾妻エリア）、西毛広域幹線道路（前橋エリア～高崎・安中エリア～甘楽富岡エリア）

道路ネットワーク図（一部拡大）

【効果2】早期の救命救助を可能にします！

前橋玉村線バイパスの整備により、前橋市内の重要な防災拠点である前橋赤十字病院と前橋南IC、群馬県庁等を結ぶ強靱な道路ネットワークが構築され、災害時の早期の救命救助を可能にします。

【対象事業】
渡良瀬幹線道路（桐生・みどりエリア内）、前橋玉村線バイパス（前橋エリア内）ほか

前橋玉村線バイパス朝倉工区の事例